



シーサイドニュース

Medical Corporation WADOKAI
Hiroshima Seaside Hospital

2016年
夏号
vol. 73

よさこい

暑中お見舞い申し上げます

病院長 大庭 治

梅雨が明けました、また夏の猛暑が来るのかと思うと喜べないものがあります。患者さんによっては直接言葉で表現することができないことが有りますが、病室の立地条件によっては発汗、発熱などにより変化を発信してくれることもあります。忙しく働いているスタッフに合わせると逆にじつとしている患者さんは冷たくなっていることもあります。この時期温度管理は大変重要になります。

最高気温35度を超えることも珍しくなくなりました。私たちの育った頃には熱中症など聞いたこともありませんでした。剣道の暑中稽古でも稽古着と防具をつければ熱さも忘れられました。練習中は水を飲んでも、稽古後水泳をしていけないと教わりました、体が冷えるとのことでした。常識は変わってしまいました、精神力も重要ですが注意が必要です。

オバマ大統領の広島訪問は少し明るい出来事でしたし、原爆資料館を訪れる観光客も急増し、広島駅はこのところいつもごった返しています。

一方、世界はどことなく危険な方向に進んでいるように思います。依然としてテロやクーデターが各地域で勃発し

ていますし、日本のJICAの活動もこのところダッカや南スーダンで危険な目に遭っています。発展途上国での活動は危険を伴うことは周知の事実でしたが、このようなレベルは予想外でした。また南シナ海の領有権問題では中国は最終的にどのような決着をつけるのか、武力にだけは頼らずに解決してもらいたいものです。

さて、当施設の今年の運営計画は医療病棟の稼働率95%、介護病棟98%、有区分率90%を掲げていますが、皆さんの協力で一応目標をほぼ達成しています。さらに療養機能強化型の算定ができるようになりました。2年後に迫った医療・介護診療報酬同時改定時の介護療養病棟の廃止後の在り方に大きく影響するのではないかと思い取り組んできました。

診療の場となっている建物の大部分が25年を経過し機能的で安全な職場環境から少しづつ取り残されてきました。出来る範囲で改築や修理を行っていく計画です。患者さんの安全とスタッフの満足感向上のために頑張っていきます。

5月12日、看護の日のイベントを開催しました。

“私たちの想いを届けたい”をテーマにした
今回のイベント内容を紹介します。

スタッフによる「夏の思い出」「思い出の渚」「また君に恋してる」のリコーダー演奏、綺麗な音色に聞き入りました。色鮮やかな衣装でのフラダンス、ダンス経験のないスタッフも頑張りました。

そして、院内の保育所からは2歳児が登場。「こいのぼり」の歌に合わせ小さいからだをいっぱい動かし、可愛らしいダンスを見せてくれました。見ている皆が笑顔になり、癒されたひと時でした。

最後に全員で「茶摘」「故郷」を歌いました。会場全体が和やかな雰囲気になり、優しい気持ちになれた様な気がしました。

短い時間ではありましたが、患者様とご家族様の笑顔と目の輝きがとても印象的で、楽しんで頂けたと感じています。



シーサイド・夏のイベント

七夕～星に願いを～

グループホームで行われた七夕のイベントを紹介します。

笹は願いを書いた短冊や折り紙で飾りつけをしました。

午後のレクリエーションで笹から下した短冊をひとりひとりが飾りつけと一緒に色紙に貼り作品を作りました。

最後に、スタッフ特製の手作りデザートを食べ、大満足の七夕イベントになりました。

皆さんは、星にどんな願いごとをしましたか？



七夕の歴史・由来

七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事です。毎年7月7日の夜に、願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残ります。その起源には数多く説がありますが、(1)もともと日本の神事であった「棚機（たなばた）」と(2)おりひめとひこぼしの伝説と(3)奈良時代に中国から伝來した「乞巧羹（きこうでん）」という行事があわさったものと言われています。

夏!海!ビール!!

7月に毎年恒例の病院全体で行われる納涼会がプリンスホテルで行われました。

同じ部署のスタッフはもちろん、普段話す機会が少ない他部署・他病棟のスタッフとも、話すことができ、とても楽しかったです。そして「ワールド ブッフェ クルーズ」がテーマの世界各国の美味しい料理とお酒!夏の暑さを忘れる最高の一時でした(^o^)

今回の納涼会で元気満タン!まだまだ続く暑い日に負けず、患者様により良いサービスを提供できるよう頑張ります!

訪問看護 川角 麻美



★オバマ大統領、広島来訪★

名誉院長 土光 文夫

本年の広島での大きな出来事は、5月27日アメリカ大統領、バラクオバマの広島訪問であった。平和記念公園の慰靈碑(Cenotaph)に献花をされたことは世界の歴史的できごとなり広島の名は全世界に一段と広まった。

原爆投下の昭和20年、数十名の私の旧制高校の同窓生が学徒動員として軍需工場で労働の為、広島に移住しており私自身もその一人として向洋にいた。

不幸にして6名の同窓生が広島市内で被爆され、すでに5名は他界されている。真にお氣の毒に絶えない。

私が仕事の関係でもし広島に住んでいなかつたら原爆を身近に感じることはなかったかもしれない。例えば何故原爆は使用されたのか。なぜ広島と長崎に投下されたのか等、解明されていないことが多い。しかしこの絶大なる犠牲が、原爆および核兵器廃絶という人類の理想になっていることは言うまでもない。

今回の原爆投下当事国の大統領が、決してオバマ大統領個人の責任ではないが、原爆被災地訪問を実現されたことは大きな歴史の1ページになるであろう。

コラム
「医療・介護の鳥瞰」
リハビリセンター長 松田 誠

度を存続するのは難しく、思い切った改定が必要となってくるだろう。又、改定するにも前提となるのは、介護費用を出来るだけかけないで、制度を存続することが重要なこととなる。その為には、現状のサービスの見直しが必要で、重複なサービスや過剰なサービス等は、縮小しない廃止が必要となる。こうしてみると訪問系のリハと通所のリハも見直しが必要なサービスかもしれない。

この二つのサービスを整理してみると、

訪問看護からのリハビリでは、出来るだけ居宅で能力に応じ、自立した日常生活を営めるように療養生活を支援し、心身の機能の維持、回復を目指すものとされている。

訪問リハビリテーションでは、自宅を訪問して、出来るだけ居宅で能力に応じ、自立した日常生活を営めるように、PT、OTその他必要なりハビリを行うことにより、心身機能の維持、回復を図るものとされている。

これに対して医療保険の訪問をみてみると、在宅療養を行う患者であって、疾病・傷病のための通院が困難な者に対して、定期的に訪問して診療等を行うことをされている。

一方、通所リハでは、出来るだけ居宅で能力に応じ、自立した日常生活を営めるように介護老人保健施設や病院、診療所に通って来てもらい、PT、OT等の必要なりハビリを提供することで、利用者の心身の機能の維持回復を図ることものとされている。

上記のことから、介護保険の訪問系のリハも、医療保険と同様に、通院・通所が困難な利用者を対象とする。それ以外介護保険の特徴として、退院、退所した利用者が、居宅で自立した日常生活を営めるように、短期間に集中してリハビリを行い、それ以後は通所リハに移行してサービスを行うと考えると分かりやすい。

これから、いかに介護費用をかけないで介護保険制度を存続させるかが重要な課題となる。その為には、重複なサービス・過剰なサービスを縮小・廃止するのは当然で、それ以外にも、各人が現在受けているサービス内容を十分検討し、自分にとって優先的なサービスを活用して、自立につながるようサービスの見直しが必要となってくるであろう。

※…介護保険では、訪問看護からのリハビリと訪問リハビリテーションの2つの事業所がある為、ここでは訪問系のリハと略する

知っていますか?!

～いろんな場所でみかけるこのマーク～

次のようなマークをよく見かけたことがあるかもしれません、どのような意味があるかご存知ですか?



【障害者のための国際シンボルマーク】

障害者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。すべての障害者が対象で車椅子を利用する障害者を限定しているものではありません。



【耳マーク】

聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。聴覚障害者は見た目には分からぬために、誤解されたり、不利益をこうむったり、社会生活上で不安が少なくありません。



【オストメイトマーク】

人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表しています。オストメイト対応のトイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。



【ハート・プラスマーク】

「身体内部に障害がある人」を表しています。身体内部に障害がある方は外見からは分かりにくいため、様々な誤解を受けることがあります。電車などの優先席に座りたい、近辺での携帯電話使用を控えてほしい、といったことを希望していることがあります。

今回はその一部を紹介しました。他にも数多くありますし、中には自治体が新たなマークを作り普及活動を行っているところもあるので、また紹介できたらと思います。障害に関するマークが、もっと認知され、活用できるようになるといいですね!

訪問系のリハ*と通所リハ

高齢者が増加することで、介護費用も増加するのは

明確な事実である。しかし、財源の問題で現状の介護保険制

若返り

何かを見ながら書く事や、声に出して読む事は脳の刺激になります。新聞のニュース、社説、コラムなど好きなものを別のノートなどに書き写してみましょう。

最近はパソコンや携帯を使うので文字を書く機会が少なく、是非自分で字を書いてみてください。

今回は百人一首の一旬を例に出しています。

花の色は
移りにけり
ながめせしまに
いたづらに
我が身世にふる



♥信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日／土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30 13:00~16:00)	荒巻 8/1~	上杉	池田 沖田	山本	中村 上松瀬

●神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目／内科・神経内科・リハビリテーション科・放射線科

療養病床330床(医療208床・介護122床)

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 通所リハビリテーション(定員45名) TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1221
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422
- グループホーム元宇品(定員18名) TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品(定員30名) TEL (082) 255-1271

■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいがもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

●ごあんない



- バス／広島バス21号線(宇品線)シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車／広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー／広島駅より元宇品方面へ約30分

【編集後記】

5月27日、オバマ大統領が広島に来ました。

現職アメリカ大統領の訪問は大きなニュースで、広島中がこの話題で持ちきりでした。当日、私も平和公園に出向いたのですが、平和公園周辺はオバマ大統領を一目見ようと大勢の人で溢っていました。残念ながら、厳重な警備で姿を目にするすることはできませんでしたが、人々の熱気を肌で感じることができました。この訪問が「核なき世界」を実現する第一歩になることを願っています。

さて話題は変わって…カープは絶好調ですね！6月に首位に立

って以来、2位以下を突き放して独走中！新井貴浩選手の2000本安打、黒田博樹選手の日米通算200勝達成もあり、ファンも熱く盛り上がっています。マツダスタジアムのチケットも売り切れ状態で連日満員のようです。この勢いのまま、今年こそ優勝してほしいですね！

今年は観測史上最高に暑い夏になる！という予測を耳にしました。ただ7月は今のところ平年並み（それでも十分に暑い！）のよう少し拍子抜けしたのですが…8月はやっぱり例年以上に暑くなるとのこと。しっかり水分補給して夏を乗り切りましょう！（編集N）